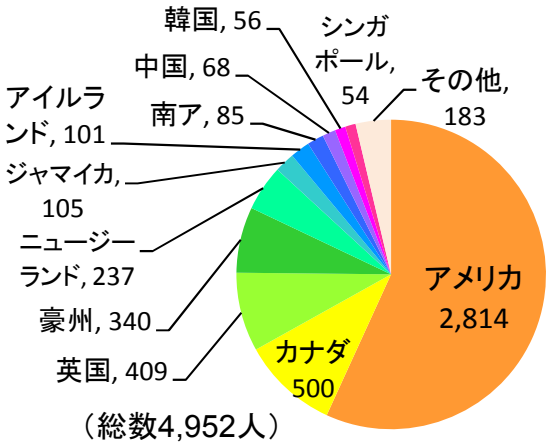
ＪＥＴプログラム３０周年について　*"The JET Programme 30th Anniversary"*

JETプログラム：外国青年を日本に招致、地方自治体等が小中高校での外国語教育・自治体での国際業務に活用するプログラム
⇒平成28年に**設立30周年**：累計で世界65カ国から約65,000人の外国青年を招致する**世界最大規模の人的交流プログラム**
⇒**小学校での英語教育早期化やオリンピック・パラリンピック向けの国際交流（ホストタウン等）などに有意な人材を供給**

(1)平成28年度の状況

◆ 招致国別の内訳

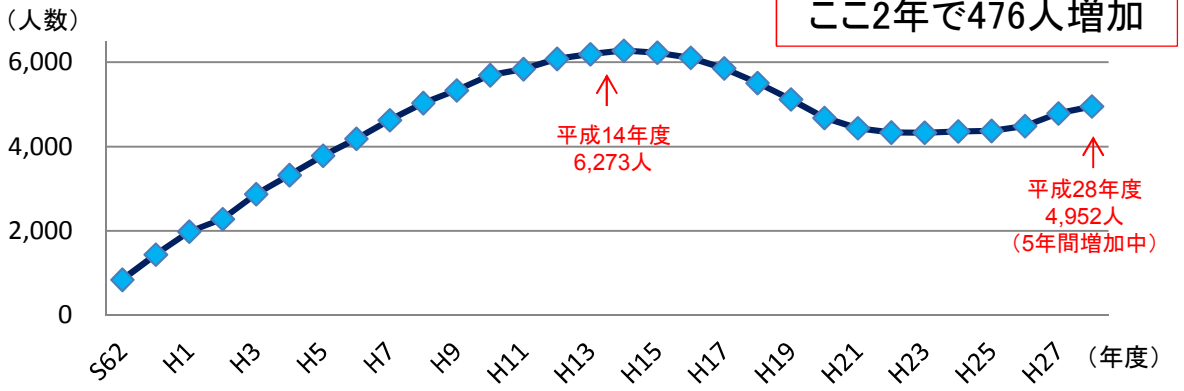


（総数4,952人）

◆ 職種別内訳

- ALT（Assistant Language Teacher：外国語指導助手）　：4,536人
  ⇒ 教育委員会や学校で、外国語教員等の助手として職務に従事
- CIR（Coordinator for International Relations：国際交流員）　：410人
  ⇒ 地方公共団体の国際交流担当部局等で国際交流活動に従事
- SEA（Sports Exchange Advisor：スポーツ国際交流員）　：6人

◆ 招致人数の推移



ここ2年で476人増加

(2)JETプログラムの活用

① ALT（外国語指導助手）の導入・増員

〈小学校英語での活用〉
・新学習指導要領では英語時数が大幅増加予定（H30～）

（現状）	（H30年～）
・小学5年から「英語活動」	⇒ ・小学3年から「英語活動」（2年前倒し）
	⇒ ・小学5年から「英語教科」

対応例：高崎市（小中83校設置）
H27：41人 → H28：62人 → H29：83人（全校に!）

〈私学でも活用〉
・人数、団体数ともに急増（H28：19都道府県）
H26：11人 → H27：159人 → H28：191人
・私学助成に対する特別交付税措置開始（H28～）

② CIR（国際交流員）、SEA（スポーツ国際交流員）の導入

〈国際大会開催地やホストタウンでの活用〉
・機運の醸成、まちづくり、遺産（レガシー）、相手国との連絡調整、翻訳・通訳等）
・主要国際大会に向けた対応例
2019（H31）　ワールドカップラグビー（釜石市、袋井市）
2020（H32）　東京オリンピック・パラリンピック（伊豆の国市）

ＪＥＴプログラム３０周年について　*"The JET Programme 30th Anniversary"*

JETプログラム30周年記念式典

JETプログラムは創設30周年を迎え、その成果を振り返り、今後の発展に繋げるため記念式典を開催する。
JET事業を一層充実させるため、この記念式典及び関連事業によって、JET事業を日本国内及び海外に幅広くPRし、より多くの理解と支持を得る。

〈日　程〉 平成28年11月7日（月）
〈場　所〉 都内ホテル
〈主　催〉 総務省・外務省・文部科学省
一般財団法人自治体国際化協会（CLAIR）

JETありがとうキャンペーン

JETプログラム参加者や関係者を対象に、本プログラムを通じて出会った人々やJETへの感謝の気持ちなどのメッセージ、画像、動画を募集する。それを発信、共有することで、本プログラムの周知を図る。

〈募集期間〉　平成28年5月18日～8月31日

その他
30周年を迎えたJETプログラムについて、
国内外において幅広くPR

JETプログラム動画コンテスト

「JET参加者が伝える日本の地域」をテーマに動画を募集。特設サイトで閲覧者による投票を行うとともに、審査委員会で最優秀賞等を選定し、30周年記念式典で表彰する。
応募いただいた動画について、インバウンドの増加を目指す関係機関等と共有し、各地域の観光客誘致に活用する。

〈募集期間〉
≪秋冬編≫
平成27年10月1日～平成28年3月10日
・応募作品数　50作品
・応募作品数の多い取りまとめ団体
［5本］青森県、岩手県、
［3本］静岡県、奈良県、熊本県、鹿児島県
≪春夏編≫
平成28年4月7日～8月31日

〈参加資格〉 JET参加者、JET経験者

〈応募作品例〉

A Gourmet Tour of Aomori

Iwate Handicrafts
岩手の伝統工芸

Tanegashima
This is Our Island

〈URL〉 https://jetvideocontest.com/